

ふるさと講座・歴史系のお知らせ！



「明治から昭和の交通の要所 奥行地区文化財を巡る」

奥行地区には、駅通、駅、村営軌道と町の開拓の変遷を辿ることが出来る貴重な文化遺産が残されています。現在、史跡奥行臼駅通所は、老朽化した主屋の改修工事を行い、平成30年度に完成を予定しています。

本講座では、文化財の見学・解説をはじめ、普段は見る事が出来ない改修工事の現場見学、トロッコ試乗体験も行いますので、ぜひ、ご参加下さい。

- 日 時 平成28年9月24日(土) 午前10時～12時
- 場 所 奥行地区文化財(集合は、奥行臼駅前)
- 内 容 1. 文化財の見学と解説
 - ①史跡旧奥行臼駅通所(主屋改修工事現場の見学等)
 - ②町指定文化財 奥行臼駅
 - ③町指定文化財 旧別海村村営軌道風蓮線奥行臼停留所

講師 生涯学習課文化財担当 主査 戸田 博史

2. 特別企画「トロッコ試乗体験」

奥行臼駅に所蔵されているトロッコに乗ってみよう！

- 定 員 20名
- 申込み 電話・FAX・メールにて氏名・電話番号を9月23日(金)までにご連絡ください。

企画展開催中！「地図で見るべつかい」

時代とともに変わりゆく町の様子を館所蔵の地図からご紹介いたします。特別プレゼントもご用意しておりますので、ぜひ、ご来館ください。

- 期 間 平成28年7月22日(金)～9月30日(金)
- 場 所 郷土資料館第2展示室

「別海村鳥瞰図」(右)を
プレゼントします。
(残りわずかです。)



酪農郷べつかい 農業の歴史を振り返る-その2

戦後、広い土地を残していた別海村には多くの人たちが入植しました。飼育農家の増大、国の営農補助、村内各農協の積極的な事業の展開、国の経済・社会情勢の安定、そして農民の努力も円滑に作用し、農業の回復も着実に進展がみられるようになりました。牛の飼育頭数も増加し併せて生乳牛乳量も次第に増加していきました。農業振興への施策も復興への足がかりとなっていきました。

こうした復興が見られたさなか、昭和 28-29 年(1953-54)に冷害による農作物の被害が出ました。より寒地としての適地適作農政の確立を求める行政措置が望まれていく機運が高まりました。政府は酪農の振興と恒久的な安定を図るため、昭和 29 年(1954)酪農振興法、昭和 30 年(1955)根釧パイロットファームの建設が実施されていき、今日の別海町酪農の繁栄の基本的な端緒となりました。

酪農振興法では、明確に乳牛導入の農業方式への切り替えを打ち出し、家畜導入資金の融資、トラクター導入資金の補助、飼料自給経営地の設定についての補助、サイロ・畜舎などの建設に対する融資が行われ、高度集約酪農地域に指定されました。

一方、根釧パイロットファームの建設は、世界銀行(国際復興開発銀行)の融資を受け、昭和 31 年(1956)に床丹第 2 地区(豊原)、続いて床丹第 1 地区(美原)で計画進められていきました。機械開墾と土地改良、入植と並行して住宅・畜舎の建設工事を短期の内に実施しようとするものでした。17~18ha の土地を与え、3 分の 2 の面積に牧草、飼料作物を栽培させ、10 頭の搾乳牛飼育で、年間 1 戸あたり 110 万円の粗収入をあげる経営を完成させようとした。建設には約 11 億円にのぼる資金が投入されました。

しかし、開墾も機械が全てやってくれた訳ではなく、耕した後に残った根の始末に明け暮れる毎日、住宅もすぐに出来た訳でもなく、共同居小屋を作りそこで入植の準備をしていました。与えられたジャージー牛もブルセラ病(法定伝染病)が発生し乳量もホルスタインよりかなり少なく、肉質も劣るなど次第に敬遠されホルスタインに置き換えられていきました。

酪農生産の基盤づくりが進められていきましたが、高度成長へ歩みはじめた日本の経済は産業の格差を広げ、経済変動は農家経済も圧迫していきました。全体で 361 戸の農家が入植しましたが、10 年後には 68 戸の離農がありました。



写真上 馬力による牧草刈
写真下 根釧パイロットファームの住宅と牛舎



ジャージー牛

加賀家文書館特別展「バイバル展第2弾！」

「近世の別海を探る I ~ニシベツ・ベツカイ篇」(~9月30日まで!)

別海町郷土資料館だより No.206

発行日 平成28年9月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町 30 番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

7月の日照不足、8月の蒸し暑さと台風。例年とは違う経験したことのないような気候になっていると思います。例年9月は、イベントも多く、台風の影響を受け、雨が降りますが、例年とは違う気候が続くとなれば、晴れる日が多くなるのでは、なんて楽観視出来ないですね。(K.I)